

本校におけるCOGの取組について

青森県立八戸商業高等学校

チャレンジ！！オープンガバナンス（略してCOG）は、東京大学公共政策大学院が主催する「学生や市民がデータを活用し、地域課題を解決するコンテスト」です。本校では平成29年度に、八戸市、ヤフー八戸センター、アイティコワーク（地元IT企業）と連携し、2年生全員が課題研究の授業を利用して取り組み、応募しました。また、八戸市役所に地域課題を解決するアイデアを提言し、意見交換を行いました。

平成30年度も継続して取り組んでいます。9月10日には、マチニワ&はっち（街中にある八戸市のミュージアム）で2年生160名がアイデアソンを行いました。その後2回のワークショップを行ってアイデアをデータで理由づけし、具体化してCOG2018に応募しました。

平成29年度

1 8月24日 スタート

八戸商業高校に、八戸市役所から2名、ヤフーから3名、アイティコワークから1名来校。「地域活性化、地域貢献、問題発見・解決能力や情報活用能力の重要性、連携」等の思いを共有し、「産学官連携で何かやろう」となった。ヤフーから「COGへの応募を目指すことが目的に合致しているのではないかと提案があり、連携して挑戦することを決めた。

2 8月31日 キックオフミーティング

ヤフー八戸オフィスに8名が集まり、目的とゴールを共有しスケジュール案を作成した。市はCOGにエントリー(タイトルは2つ 公共交通の利活用、八戸市のプロモーション)

3 10月4日 11:55~15:20 アイディアソン

市役所、ヤフー、アイティコワークから約20名来校
本校2年生全員160名が参加

- ①COGの説明（事務局）②エントリー内容説明（市役所）
- ③「分析のいろは」説明（ヤフー）
- ④アイデアソンの進め方説明（ヤフー）
- ⑤個人ワーク
- ⑥グループワーク（26グループ 生徒約6人に大人1名がグループリーダーとして入りグループのアイデアを決定）、簡単なワークシート作成



4 11月13日 13:30~15:50 ワークショップ

市役所、ヤフー、アイティコワークから約20名来校
本校2年生全員160名が参加

各グループが更に話し合いを進めた。（アイデアの内容、アイデアの論拠、実現までの流れ）



5 11月～12月 プレエントリーシートの作成

生徒たちは、グループごとに休日や放課後を利用してプレエントリーシートを作成した。

6 12月4日 COG選考会

COG事務局(各団体の中心者)が、26グループのプレエントリーシートを全て見て審査し、6グループを選抜した。

7 12月11日、12月18日 エントリーシートの作成

選抜された6グループのグループリーダー(大人)が来校し、生徒とともに応募用のエントリーシートを作成した。



8 12月20日 COG2017に応募

9 1月11日 生徒が八戸市にプレゼン

代表6グループ12人の生徒が市役所を訪れ、市の職員等関係者の前で自分たちが考えた地域活性化策を発表し、その後意見交換をした。



10 3月4日 COG最終審査(東京大学にて)

「観光客増加民泊プロジェクト」のアイデアが、最終公開審査ポスター展示対象に選ばれ、生徒2名、教員2名が、東京大学で行われた最終審査に参加した。



11 3月20日 八戸市長表敬訪問

代表生徒が市役所を訪れ、八戸市長にCOGの取組を報告した。

平成30年度

1 6月21日 八戸COG2018講演会

COGを主催している東京大学の奥村教授に来校していただき、2,3年生を対象に講演会を実施した。「COGでGO! みんなで変えよう八戸を!」という題で、地域の課題解決にチャレンジする大切さや、デザイン思考、データ分析について学んだ。



2 9月10日 9:30～15:15 アイディアソン

2年生全員160名が、マチニワ&はっちで地域の大人と共に八戸の課題解決に取り組んだ。八戸市からは3つの地域課題テーマについて説明があり、各グループは一つを選んでアイデアを出し合った。



3 10月10日 10:55~15:20 ワークショップ①

市役所、ヤフー、アイティコワークから13名来校
2年生全員160名が参加

ヤフーの方から「データ分析の基本」の講義を受けた後、グループごとに前回のアイデアソンで出し合った地域活性化のアイデアを再検討した。(データで理由づけ)



4 11月6日(火) 10:55~15:20 ワークショップ②

市役所、ヤフー、アイティコワークから13名来校
前回に引き続き2回目のワークショップを行った。



5 11月~12月 プレエントリーシートの作成

生徒たちは、グループごとに休日や放課後を利用してプレエントリーシートを作成した。

6 12月3日 COG選考会

COG事務局(各団体の中心者)が、25グループのプレエントリーシートを全て見て審査し、7グループを選抜した。

テーマ1「公共交通で豊かなまちづくり」 2グループ

テーマ2「八戸まちなか広場マチニワの活用」 3グループ

テーマ3「八戸のプロモーション」 2グループ

7 12月13日 エントリーシートの作成

市役所、ヤフー、アイティコワークから10名来校。

選抜された7グループの生徒は、アドバイスを受けながら応募用のエントリーシートを作成した。(アイデアの内容、アイデアの理由、実現までの流れ)



8 12月18日 校内表彰式

選抜された7グループに優秀賞、3グループにグッドアイデア賞を授与した。



9 12月20日 COG2018に応募

○本校がCOGに取り組む目的

- 1 高校生自身が社会の一員であるという意識を持たせること。できれば、自分たちの提案、行動で何かを変えることができるという成功体験を経験させたい。
- 2 これからの社会で特に必要となる問題発見・解決能力、情報活用能力、協働力を育むこと
- 3 生徒が地域を知り地域を好きなること。そうすれば、将来この地域に住む若者が増えることにつながる。
- 4 地域の活性化に八戸商業が少しでも役に立つこと。また、地域の方には八戸商業の良さを知ってもらいたい。
- 5 学校、市、企業が連携することでお互いに新たな気づき生まれること。

○平成29年度の実践を通じて感じた「COGの意義」

- 1 一部の生徒だけでなく2年生全員が主体的に取り組んだこと
- 2 1回だけでなく、継続した実践であること
サポートの大人の方約20人が本校に4回来校し、地域を盛り上げる提案を生徒と一緒に考えてくれた。
3つの班は3年生の課題研究のテーマとして更に1年間取り組むことになった。
*その後、情報処理科の一つの班は、これまで開発してきたアプリに、COGで取り組んだ「公共交通の利活用」の研究成果を盛り込み、生徒商業研究発表大会で発表。県で1位、東北で3位となった。
発表題は「八戸の魅力、もっと知りたくない？～八戸ナビゲーション～」
- 3 単なるアイデア出しではなく、データの裏付けのある、説得力のある調査・提案の仕方を学べたこと
- 4 生徒たちに、地域愛と、地域に貢献したいという気持ちを育むことができたこと
- 5 市、企業との連携により、若者の思いや本校生徒の良さを地域の方に知っていただき、更に新しいつながりがうまれていること